

# 校長室だより

令和3年8月27日発行 NO:11

市立川島中学校 文責：結城 栄子

## 2学期スタートに向けて



40日近くあった長い夏休みが終わり、今日から2学期スタートします。振り返ってみて、あなたの夏休みは充実していましたか。猛暑だった7月・8月上旬、異例の長雨となったお盆からの1週間、季節は巡り暦の上では、もう秋です。

何かに夢中になって取り組めたでしょうか。時間を忘れて、集中する、没頭できるものを見つけましょうと以前に話しました。それはスポーツ、自由研究、絵画制作、人権劇、何でもいい。ポジティブな感情が幸福度アップにつながるという話をしました。

この夏、ポジティブな行動を様々な場所で目撃できました。紹介します。

まず、一つ目。7月末、朝6時の涼しい時間に運動場の除草作業をしていると「おはようございます」私に声をかけ、通り過ぎていく生徒がいます。男子ソフトテニス部でし

僕はソフトテニスが好きです。小学校3年生から始めて6年間テニスに没頭できた毎日にひと区切りをつけることができました。僕はこの学校の中で一番努力している自信があります。その努力が全中出場という結果になって返ってきたことがとてもうれしいです。いままでサポートしてくれた保護者、厳しく指導してくれた岡崎先生やコーチ、応援してくれた友達や先生方、地域の方たち、本当にありがとうございました。僕にとって市立川島中学校男子ソフトテニス部として活動した3年間は最高の青春です。      キャプテン 那須 敢太



た。毎日毎日、早朝から汗を流していました。ほぼ一年を通して、こつこつ練習を積み上げてきた男子テニス部が快進撃を続け、ついには全国大会出場を成し遂げました。6月の吉野川市大会総体、県大会、四国大会と彼らの試合を見ていて、決して楽に勝ち上がってきたとは思えませんでした。苦戦して何度も何度もピンチが訪れ、それを跳ね返し勝ち上がっていきました。応援している方が胸が苦しくようなるような緊張感との戦いでもありました。そんな中で仲間のプレイ、自分のプレイが要所で決まる度に「よっしゃー・ナイスプレイ」とガッツポーズし、大きな声が出ていました。戦う度に強くなっていると感じました。8月6日、高知明德義塾中学校と2校が四国代表と決まった時、コロナ禍にあって、関東地方は緊急事態宣言発令中、栃木県での大会参加はうれしくもあり、不安でもありましたが。保護者や地域の方、多くの方が応援し背中を押してくれました。私も選手に同行して行ってきました。那須塩原市は、栃木県でも北の方で福島に近いに位置しており、徳島からはバスで片道12時間もかかりました。感染対策として開会式はありませんでした。観客も入場制限された会場でしたが美しく整備され歓迎ムード、全国大会会場は華やかでした。そして、集まった選手はやはり強かった。初戦、宮崎県代表のチームに敗れましたが岡崎監督とチー

ムメンバーが一丸となって戦略を練り戦う姿は輝いていました。

市立川島中学校の歴史を確認すると、平成7年に女子テニス部が全国大会に出場していますが、それ以外にない。26年ぶりということになります。

ポジティブな行動の目撃談、二つ目をさせてください。

それは、昨日の川中体育館の話です。舞台では、人権劇の通し稽古が佳境にはいっていましたが。マスクをシライトを浴びると、蒸し暑い体育館がさらに暑く感じることでしょう。その中で、演技を追求しています。声や表情、動きが、お盆前の練習時とは見違えるように変容しています。ストーリーに込められたメッセージを観客に届けようと創意工夫しています。大道具小道具スタッフの責任感の強さにも感心します。

彼らの集大成、発表の場が迫っています。演劇はナマの舞台発表がベストだと思います。ベストの状態を見てもらいたい、見せたいその思いは誰もが持っていますが、総合的に考えると、感染防止のために録画での上演が、今のベストです。最高の演技を追求している入交先生率いる演劇チーム輝く舞台を楽しみにしててください。

ポジティブな行動目撃談最終は、2年生のボランティア活動です。

玄関先の花が美しく咲いて、新学期を迎えました。これは、当たり前のように当たり前ではないことをみなさんは知っていますね。部活の練習着を着た2年生が交代で清掃し花に水やりを続けていました。種は蒔いても放置しては育ちません。毎日、毎日声かけして、手入れする人がいて育ちます。ありがとうございます。

さて、年で最も長い学期である二学期は実りの秋、読書の秋、スポーツの秋、何をしていても集中できる好季節と言われます。集中力が高まりさらに、飛躍できる時期です。三年生は先日、進学説明会で高校の校長先生が8人、来校してそれぞれの学校の魅力とともにこんな生徒に来て欲しいという「望む生徒像」の話をしてくれましたね。探究心、自己表現力などを身に付けた生徒が求められています。

新型コロナウイルス感染症については、感染力が非常に強い「デルタ株」の影響等により、全国的な爆発的感染拡大となっており、情勢は日々深刻さを増しております。本県においても、8月以降、急激に感染が拡大しており、8月19日（木）から「とくしまアラート」のレベルが引き上げられ、最も深刻な「ステージⅣ」に相当する「とくしまアラート・特定警戒」が発動されています。新学期が始まるので、生徒間の接触の機会が増加し感染への不安はだれもが持っています。

これまで以上に検温等の健康チェック、密の回避やマスク着用、手指消毒の徹底などの基本的対策はもとより、「教育活動」や「各家庭」における感染防止対策の一層の徹底を図り、充実した時間を守りましょう。

最後にポジティブ気持ちを維持することは難しい、オリンピックやパラリンピックが開催される一方で、医療が逼迫して感染した妊婦さんが入院できず、生まれたばかりの赤ちゃんが自宅でなくなるような悲しい事故も起こっています。世の中にある矛盾との葛藤があり、大人である私たちでもモヤモヤした気持ちになっています。生徒のみなさんがつらいときはつらいと言えて、愚痴や本音が吐き出せる環境も大事です。SOSは言っている。吐き出し相談すると解決の糸口は見つかるものです。そのために先生もカウンセラーも家族、友達がいます。つながりが支えになります。

長い夏休みを終えて、新学期、学校生活モードへの切り替えは大変かもしれませんが、ともに頑張りましょう。